



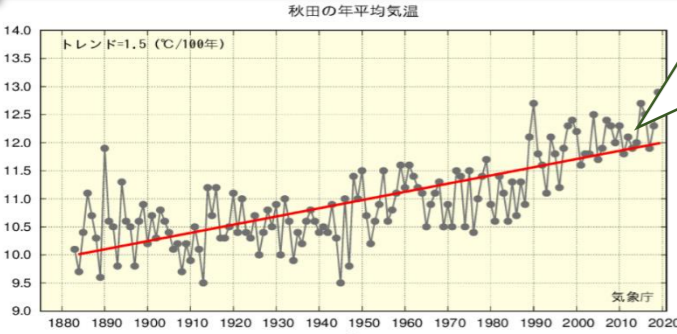
湯沢市ゼロカーボン推進計画

(湯沢市地球温暖化対策実行計画 区域施策編)

概要版

1. 計画の基本的事項

地球温暖化が加速しています



秋田県の年平均気温は100年で1.5°C上昇
(日本の年平均気温の上昇(1.3°C)より大きい)

地球温暖化に伴う気候変動のリスクへの対応が必要

秋田県は、2022(令和4)年に「第2次秋田県地球温暖化対策推進計画」を改定し、「2050年カーボンニュートラル」を目指すことを宣言

湯沢市ゼロカーボンシティ宣言



▷2022年6月に湯沢市、湯沢市議会、湯沢商工会議所及びゆざわ小町商工会の4者共同により「湯沢市ゼロカーボンシティ宣言」

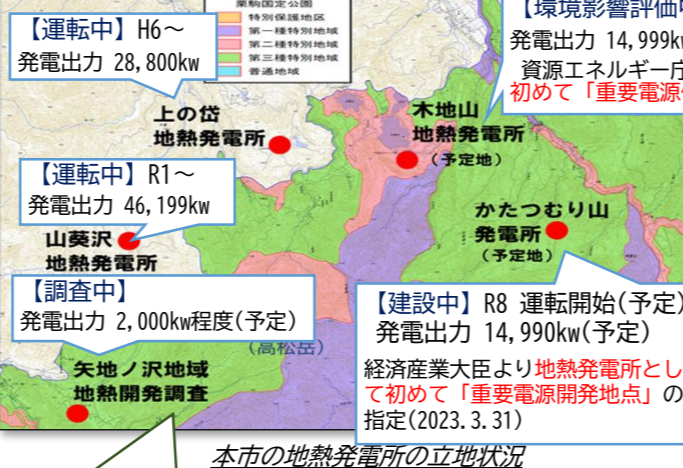
▷2050年の二酸化炭素排出量実質ゼロを目指すとともに、本市の特色を生かしながら経済や社会の同時発展につなげ、持続可能なまちづくりを目指す。

湯沢市ゼロカーボンシティ宣言の様子

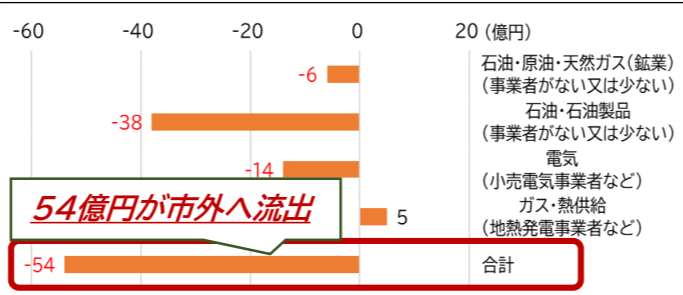
計画期間



2. 湯沢市における地域の現状や温室効果ガスの排出状況

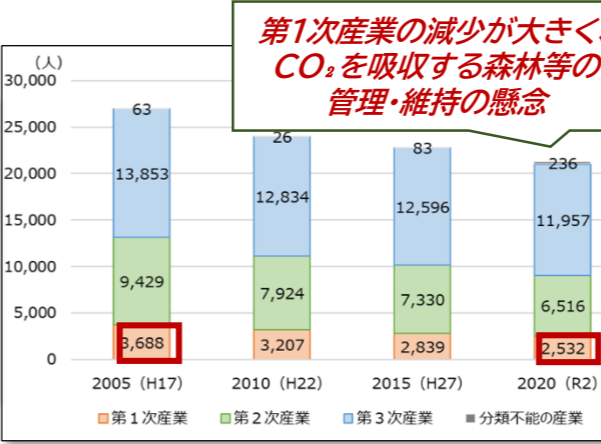
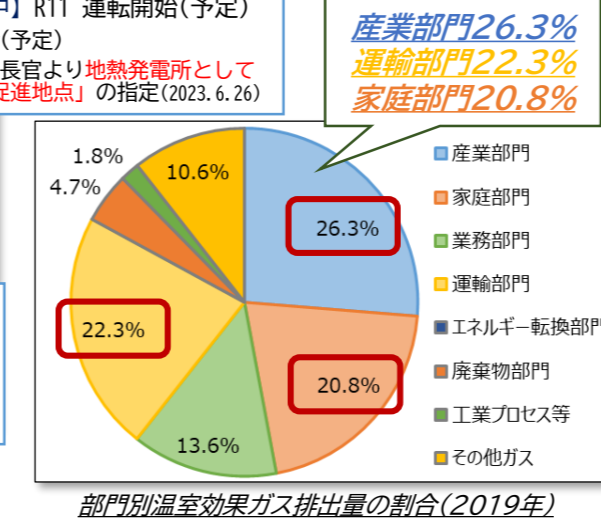


湯沢市の地熱発電所は、2か所が稼働中、3か所が稼働に向けて準備を進めています！



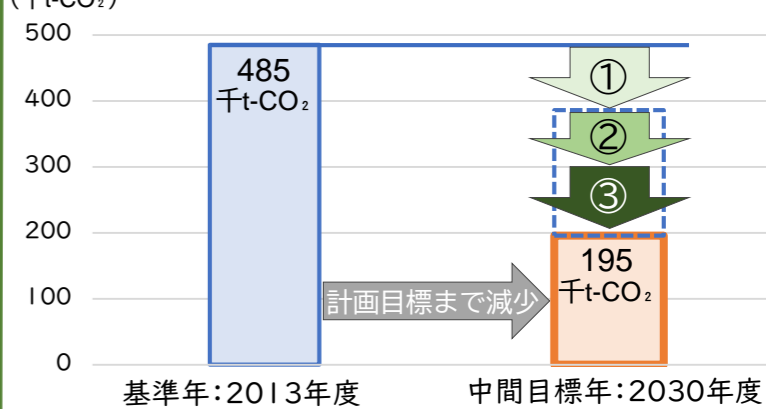
エネルギー部門別の域外流出額(2018年)

地熱発電を生かした再エネの地産地消、再エネを活用した経済の活性化や地域振興、木材の適正な利用と森林保全の取り組みをはじめ、市民一人ひとりのライフスタイルを脱炭素化することが重要！



産業別就業者数の推移(2020年時点)

3. 計画の目標



- ①現状推移による削減
⇒▲99千t-CO₂(基準年比▲20%)
- ②各分野の対策による削減
⇒▲46千t-CO₂(基準年比▲10%)
- ③森林吸収量
⇒▲145千t-CO₂(基準年比▲30%)

《削減量+吸収量》
①+②+③=▲290千t-CO₂

中期目標 2030年度の温室効果ガスの排出量
2013年度比 60%減

長期目標 2050年度の温室効果ガスの排出量
温室効果ガスの排出量実質ゼロ

4. 将来ビジョン、基本方針

脱炭素の達成と社会・経済の同時発展による“サステナブルシティゆざわ”
～ゼロカーボンを通じて、まちも人も自然も元気に～

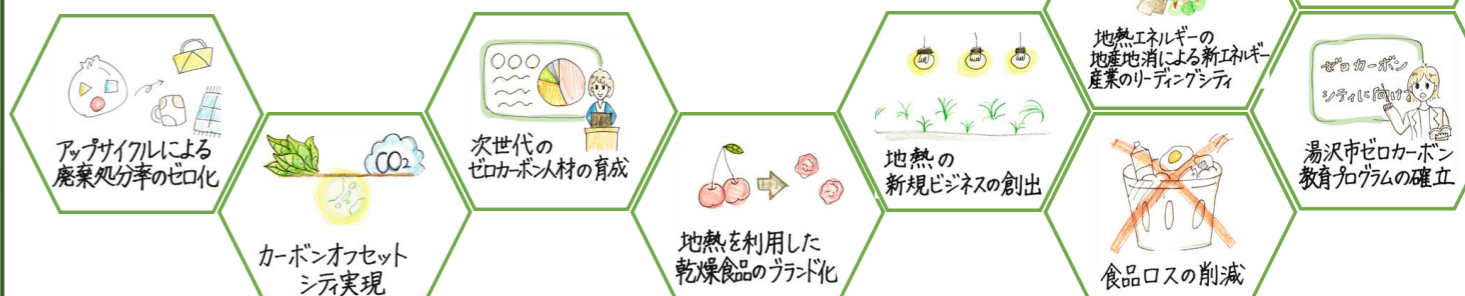
- 《まちづくり》
市内全域で地産生産の再エネ電気(地熱)を使用
創エネや蓄電設備の導入が進み、災害に強く住み良いまちに！
- 《地域経済》
企業に脱炭素経営やサーキュラーエコノミー(循環経済)が浸透
人・モノ・資金の循環によって地域経済が持続的に成長
- 《市民生活》
多くの市民が脱炭素の重要性を認識、環境に配慮した行動が当たり前
エコ活動を通じて、ウェルビーイング(健康・幸福)な暮らし
- 《自然環境》
木材の利用が促進され「きって・使って・植える」循環システムが浸透
生物多様性が適切に保全



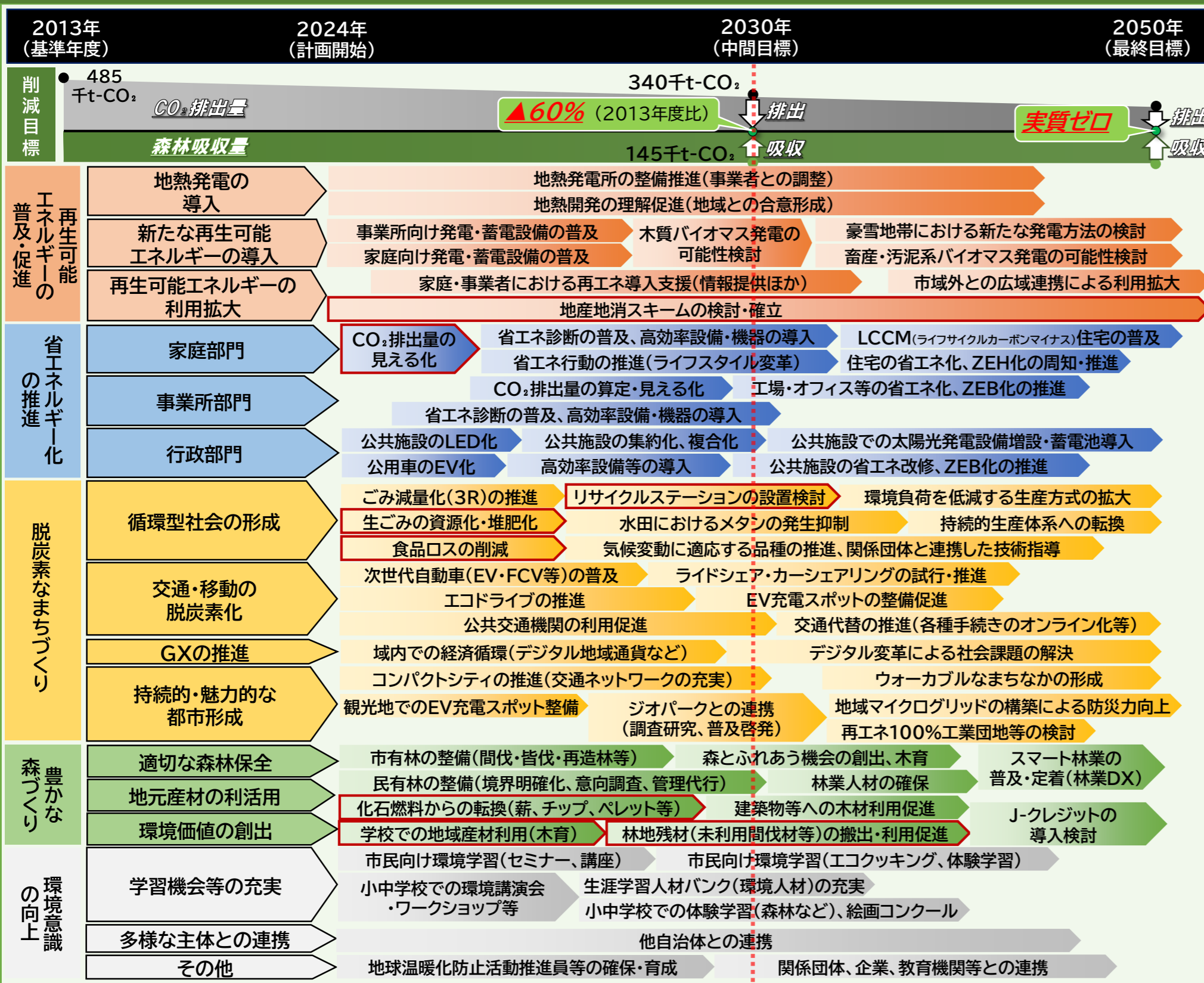
地元高校生が描いた「将来イメージ」(秋田県立湯沢翔北高等学校/総合ビジネス科)

ゼロカーボンシティに向けて私達は取り組みます

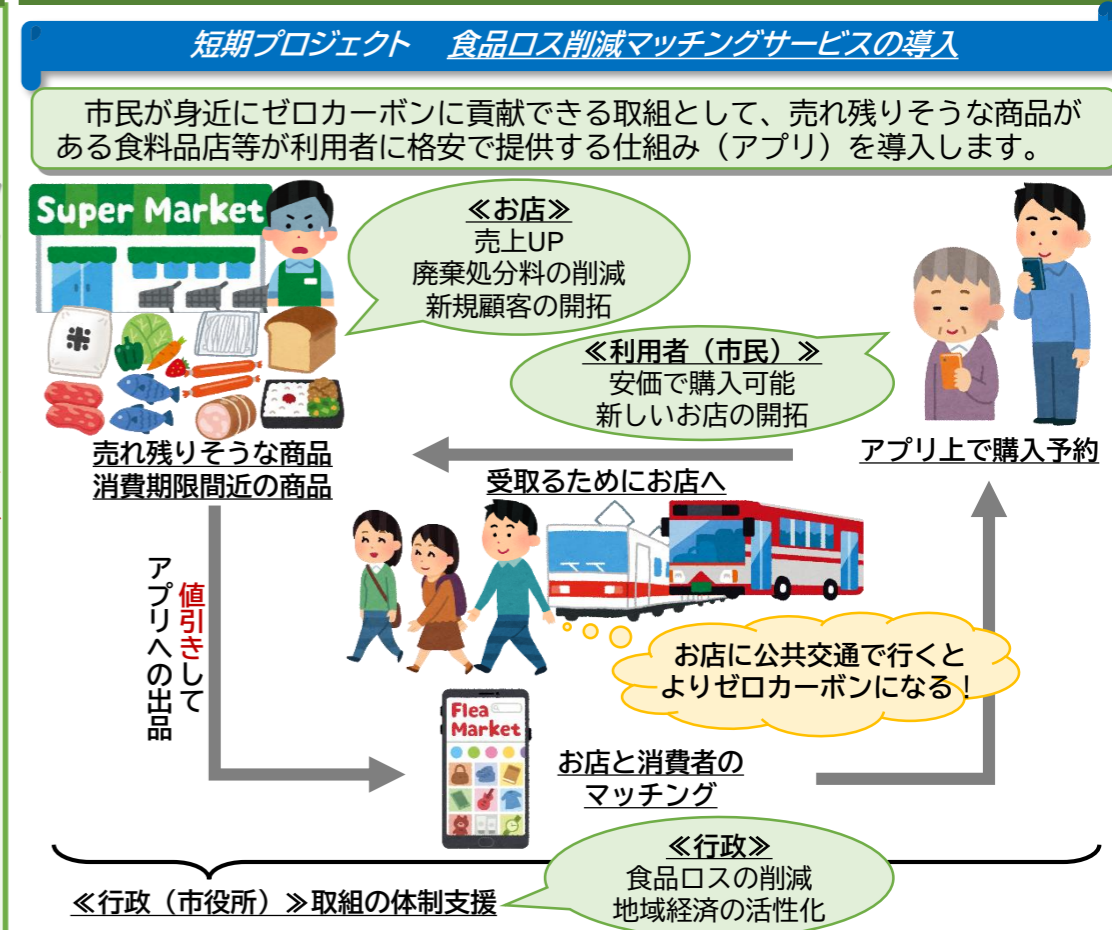
2022年6月28日、湯沢市、湯沢市議会、湯沢商工会議所及びゆざわ小町商工会の4者共同により、ゼロカーボンシティ宣言を行いました。
この宣言は、2050年までに市内のCO₂排出量を実質ゼロにする「脱炭素化」を図るとともに湯沢市の特色を生かしながら経済や社会の同時発展につなげ、持続可能なまちづくりを進めることを目的としています。
あなたも、目標達成に向け、自分達に出来る事を一緒に取り組んでいきませんか？



5. ゼロカーボン実現に向けたロードマップ ※一部抜粋して掲載



6. 重点プロジェクト



短期プロジェクト ごみ減量大作戦 ~1人1日おにぎり1個分のごみを減らそう~



短期プロジェクト 木質バイオマス導入補助金

